

『誰でもできるタグラグビー トライセットキャンペーン』
実施レポート

学校名	徳島県藍住町立藍住東小学校	実施日	平成25年11月～12月
担当教員名	川端 通俊 藤本 武	実施学年・人数	3年 58名

学校・学級紹介	<p>本校は、徳島市のベッドタウンとして人口増に伴い新設された29年目の比較的新しい学校である。現在、全校児童は407名で年々増加傾向にある。校区には、勝瑞城跡があり阿波踊りの起源の一つとも言われる風流踊りが盛大に行われた地でもある。そのため、全校でほんまもんの阿波踊りに取り組んでいる。</p> <p>3年生は、明るく活動的で体を動かすことを好み、体育の時間を楽しみにしている。そこで運動量が豊富で、作戦やルールを工夫しながら楽しめるタグラグビーに取り組むことにした。</p>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・タグ取り鬼、パス回し、1対1トライゲーム、3人パスゲームをする。(ボールの特徴に慣れさせるとともに、タグラグビーにつながる動きを身につけさせる。) ・ゲームの仕方を知り、タグラグビーをする。(ゲームの仕方を理解するとともに、ボールを持って相手をかかわして走る、タグを取る動きの習得をねらいとする。) ・ルールを工夫し、チームで簡単な作戦を決めてタグラグビーをする。(易しいルールでのタグラグビーの動きを活用して、工夫したラグビーに挑戦する。)
指導のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・決まりを守り、友達と励まし合って練習やゲームをしたり、ゲームの勝敗の結果を受け入れたりすること ・タグラグビーの特徴に合った攻め方を知り、簡単な作戦をたてること。 ・ボールを持っていない児童が、空いている場所に素早く動くなど有効な動きをするように工夫すること。
感想・印象 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・タグラグビーは、3年生ではじめて経験するというのもあってルールを理解するのに少し時間がかかった。でも、基本的には手でボールを操作してボールを持って走ったり、比較的短い距離でパスをしたりするので、何度かゲームを行う間にみんなで楽しむことができた。 ・個人差はあるが、運動量は豊富で寒い時期ではあるが汗を流してゲームを行っている。 ・3年生は、ゲームの体験が少なく自分一人でトライを決めようと強引にプレーをしたりルールを自分達に優位になるように発言したりして、試合を中断して話し合うことも多かった。少しずつではあるが、協力してプレーすることができてきた。 ・作戦の具体例を提示して選択するようにしていたが、ゲームの結果等から自分達で作戦を考えることができる児童もいた。 ・協力してプレーすることの大切さを伝え、ボールを持っていない児童の動きもよくなってきたので、他のゲームでも活かしてもらいたい。

※コメント記入欄のスペースに制限はありませんので自由にご記入ください。また、他形式でのご提出でも結構です。

【お願い】

実施レポートは、今後小学校の先生方がタグラグビーの授業を行う際の参考にするとともに、学習教材としたタグラグビーの優れた点を広めることを目的としています。実施レポートの一部は、ラグビー協会ホームページや機関誌、制作物等でご紹介させていただきますので、公開可能な範囲でのご記入をお願いいたします。